

新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会 所管事務調査資料

(令和6年4月9日)

(事務調査)

- ① 庁舎周辺等整備基本構想・基本計画等について

全体配置計画

それぞれの人に居場所になる中庭広場

建物と広場が一体化したそれぞれの場所
広場と建物が複合し、内外一体の利用や各ゾーン毎に町民のための様々な活動の場、憩いの場として計画します。

緑の広場空間
つたえり公園から京町公園までを一体化した、緑の広場空間を実現します。

広場の立体利用
計画建物は広場側にテラスを囲うように配置し、広場の立体的な利用を誘発する計画です。

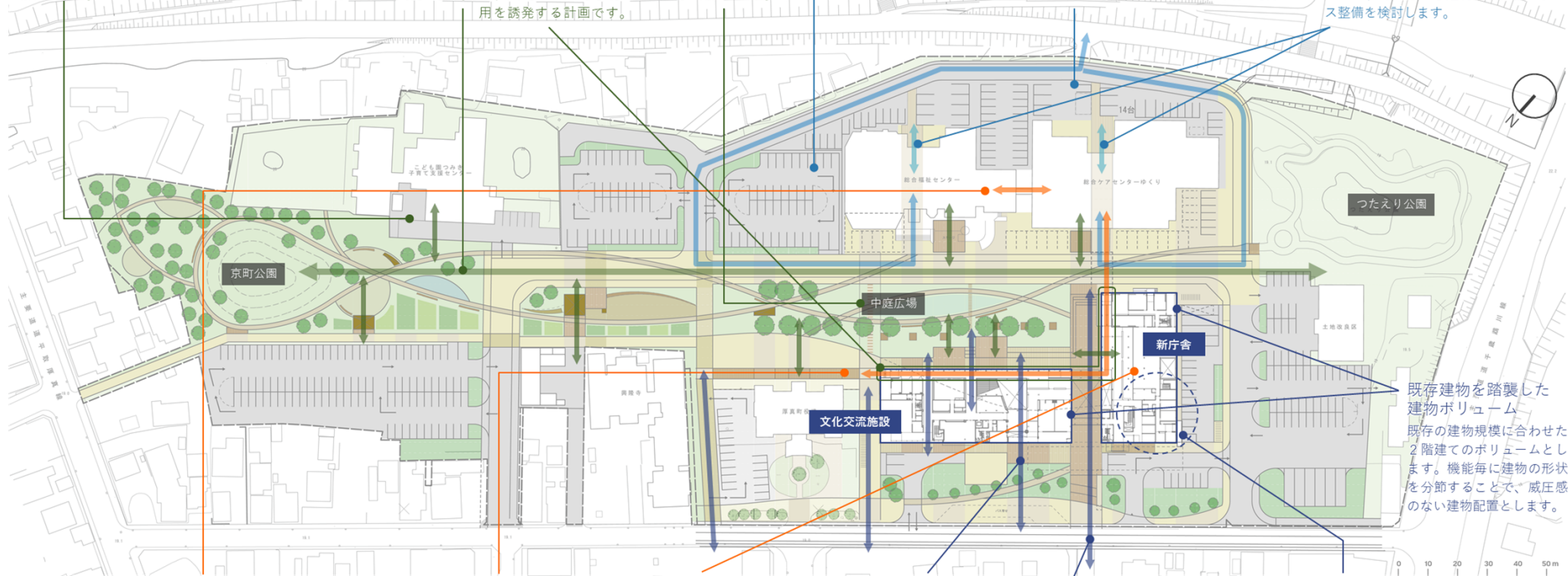
駐車場から広場へ
町道と駐車場として使われている計画地の中央に、中庭広場を創出します。

前面配置から側背面配置へ
建物前面に配置されている駐車場を建物側面に配置します。

外周道路と駐車場の外周配置

建物に近接する駐車場の外周配置
敷地の外周に回遊できる道路を整備します。道路に沿い駐車場を分散配置することで、広場と干渉しない駐車場を確保します

外周部からのエントランス整備
外周道路側から総合福祉センターやゆくりのサブエントランスを整備を検討することで、外周部から建物への直接アクセス整備を検討します。



相互補完する機能

建物が内部で移動できることによりフレキシブルで相互補完的な運用も可能になります。

室内での建物間の移動

雨天時や冬季の移動のために、内部空間で全ての建物を移動できる動線・配置計画とします。

分散から集約へ

現在、建物が行政機能が分散している配置を、計画建物が既存建物を繋げる形で配置します。

街路が続く内部空間

建物の内部にも街路が続くような配置計画とします。

まちに広がる施設

既存の街路が敷地内へ延長する形で建物を配置し、町と連続する開かれた中庭広場を目指します。

千歳鷗川線からの象徴性

南西の角に3層の議会ポリュームを配置することで、千歳鷗川線からも視認できる配置とします。

既存建物を内部で繋ぐ建物配置

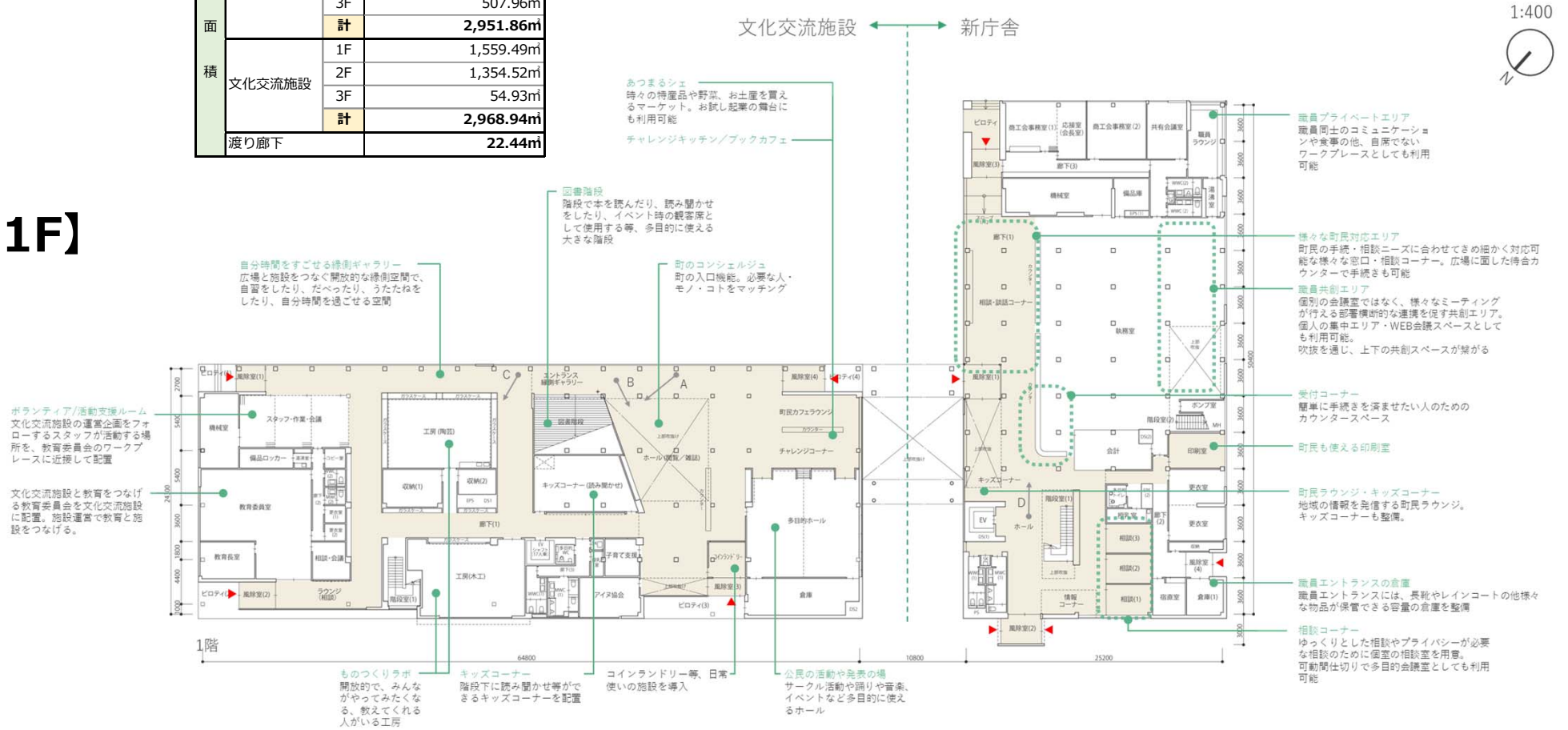


町との連続性

役場庁舎・文化交流施設①

面	役場庁舎	1F	1,317.82㎡
		2F	1,126.08㎡
		3F	507.96㎡
		計	2,951.86㎡
積	文化交流施設	1F	1,559.49㎡
		2F	1,354.52㎡
		3F	54.93㎡
		計	2,968.94㎡
渡り廊下			22.44㎡

【1F】



A



B



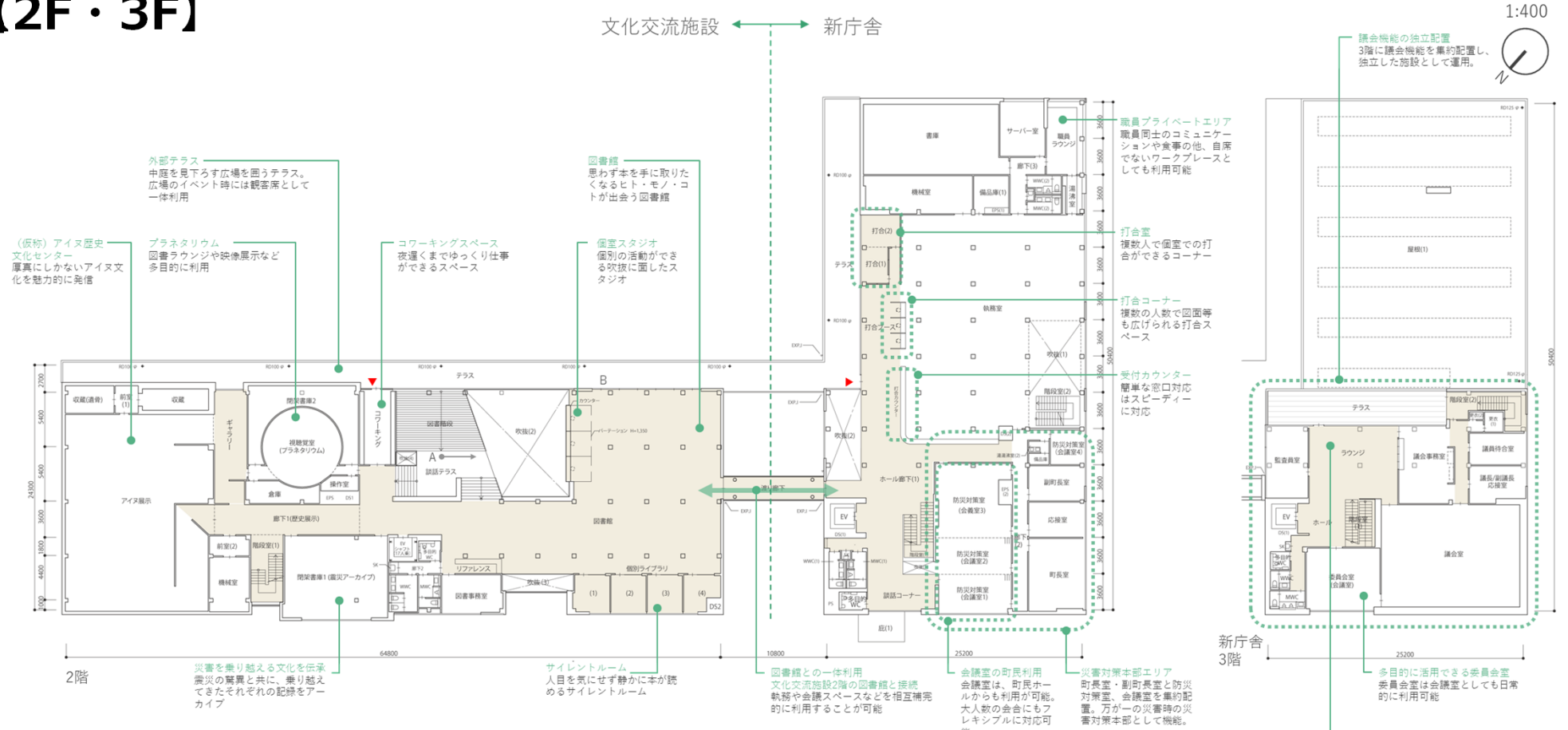
C



D

役場庁舎・文化交流施設②

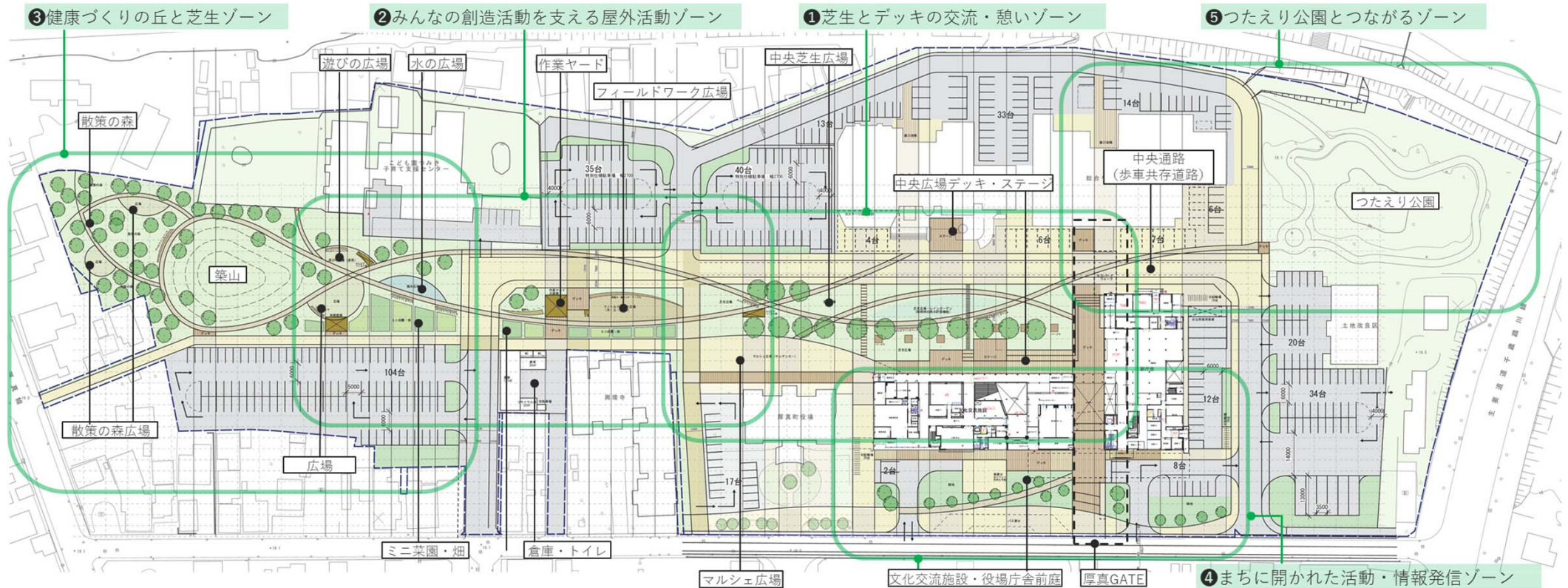
【2F・3F】



A



公園・広場



ベージュ・茶着色箇所：ブロック系・脱色アスファルト舗装



茶系着色縦ハッチ箇所：デッキ・木舗装



概算事業費

(単位：千円、税抜)

No.	施設名	区分	面積 (㎡)	事業費	財源内訳				
					国庫支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
1	新役場庁舎	設計	-	174,000	0	0	緊急防災・減災対策事業 7,100	0	166,900
		建設	2,952	2,977,000	500,000 防災計画建築物等先導事業 ※ 0	0	緊急防災・減災対策事業 124,000 一般単独事業 1,182,700	庁舎建設基金 900,000	270,300
		備品	-	100,000	0	0	0	庁舎建設基金 100,000	0
2	文化交流施設	設計	-	253,000	都市構造再編集中支援事業 113,800	0	過疎対策事業 113,900	0	25,300
		建設	2,969	2,675,000	都市構造再編集中支援事業 1,203,700	0	過疎対策事業 1,203,800	0	267,500
		展示 アイヌ展示 震災アーカイブ	-	310,000	PIA政策推進交付金 200,000	0	0	0	50,000
			-	250,000					
			-	60,000					60,000
備品	-	100,000	0	0	0	0	100,000		
3	青少年センター	解体	-	184,800	0	0	公共施設等適正管理推進事業 166,300	0	18,500
4	創作館	解体	-	7,200	0	0	公共施設等適正管理推進事業 6,400	0	800
5	児童会館	解体	-	31,500	0	0	公共施設等適正管理推進事業 28,300	0	3,200
6	旧母子健康センター	解体	-	14,500	0	0	公共施設等適正管理推進事業 13,000	0	1,500
7	外構（道路・公園・広場・ 駐車場等）	設計	-	109,000	都市構造再編集中支援事業 24,300	0	過疎対策事業 24,600	0	60,100
		整備	-	1,562,000	都市構造再編集中支援事業 604,600	0	過疎対策事業 614,800 公営企業 41,700	0	300,900
合計				8,498,000	2,646,400	0	3,526,600	1,000,000	1,325,000

交付税措置 1,482,695 特別交付税措置 25,000
地方債実負担額 2,043,905 一般財源実負担額 1,300,000

⇒普通交付税対象経費
⇒特別交付税対象経費

都市構造再編集中支援事業
合計 1,946,400

町の実負担額(一般財源+地方債+基金) 4,343,905

【再掲】	設計費	536,000
	整備費(建設・整備、展示)	7,524,000
	備品	200,000
	解体費	238,000
	合計	8,498,000

【庁舎建設基金1,000,000千円を充当した場合】
町の実負担額(一般財源+地方債) 3,343,905

※ 令和6年度から採択要件が変更となったため、財源を見込んでいません。
代替財源については、今後、継続して要請活動を行っていきます。